

平成31年度研修計画アンケートまとめ【施設担当者対象】

「看護共通」についての意見・感想等

1) 平成29年度研修についての感想(看護共通)

- ・看護倫理は、実際に活用できる事例でわかりやすかった
- ・アレルギーは、発生機序が長く難しかった
- ・フィジカルアセスメントは、シミュレーションがあり、わかりやすかった。自病院でできない研修内容でよかったです。続けてほしい
- ・中村会長の研修は、とても楽しく、有意義な内容で勉強になった
- ・摂食嚥下やノーリフトケアなど、即実践に活かすことの出来る講義が多く、スタッフが自主的に参加し、研修内容を伝達講習する事で、業務に取り入れができる内容であった。
- ・ポジティブマネージメントは、参考になる内容で実践に役立った
- ・腰痛をおこしにくいケアの方法が理解できた
- ・退院支援について他院の状況など、グループワークで学べて良かった
- ・実践することにより体で覚えることで他の人にも指導することができた

2) 平成30年度研修についての感想 (看護共通)

- ・臨床推論、フィジカルアセスメントをシリーズ化し、深く学べるようにしてほしい
- ・画像の見方は、画像最初が難しかったが研修はよかったです
- ・画像の見方は、わかりやすく良かった、回数を増やして欲しい
- ・画像の見方は、ぜひ受けたい研修です、もう少し看護師でもわかりやすい研修をお願いしたい
- ・画像の見方は、基礎からの講義だったので、理解しやすかったです
- ・画像の見方は、わかりやすい講義だったが、後半、時間が足らない感じで残念だった
- ・研修に参加することで自施設の課題が明確になった
- ・「看護ケアに生かす画像の見方」予想していた内容と相違があった。もう少し臨床に生かせる内容にしてほしい
- ・看護ケアに活かす画像のみかたの研修は、放射線科医師からの講義であり、実際の画像のみかたの基礎からポイントまでを症例をみながら説明されたので、わかりやすかったです。医師からの専門的な講義は良いと思った
- ・画像の注意点や見方が今までと違った角度で学べて勉強になった

3) 平成31年度に希望する研修・講師 (看護共通)

- ・看取りの看護(2) エンジェルメイク方法
- ・意思決定支援(4)
- ・PNSの進め方や現在の問題点
- ・身体拘束の回避に会する研修
- ・山内豊明先生
- ・ケアリング(徳島大学 谷岡哲也先生)
- ・摂食嚥下(評価・訓練を含む)
- ・フィジカルアセスメント
- ・口腔ケア
- ・倫理については、シリーズで開催してほしい
- ・DNR」「新人指導」「現任指導」など
- ・施設での倫理指導や研修の実情が知れるような研修方法を希望する
- ・倫理・リフレクション。・ナラティブの書き方
- ・看護補助者活用推進研修は毎年してほしい
- ・看護記録の書き方
- ・災害看護の病棟・外来・地域医療など各部門別の対応について
- ・医療安全KYTの実際、RCA分析
- ・看護必要度
- ・リハビリテーション看護について 酒井郁子先生(千葉大学)
- ・認定看護師教育について(認定看護師の進むべき方向性と今後の役割)
- ・これからのかの看護職のあり方、看護の動向
- ・シミュレーション教育

「看護研究」についての意見・感想等

1) 平成29年度研修についての感想 (看護研究)

- ・研究発表に活かせる研修であった
- ・研修はとても役に立ち、研修意欲に繋がった
- ・各施設の発表が聞けて、大変参考になった

2) 平成30年度研修についての感想 (看護研究)

- ・パワーポイントや論文の書き方の研修の回数を増やして欲しい
- ・レポートのまとめ方など非常に勉強になった
- ・ネットを使い質問などできたらいいと思います。今までシリーズで行いとても分かりやすく良かった。継続してもらいたい

- ・自施設の研究に対して、アドバイスをいただけてよかったです
- ・基礎からの学習であったため大変わかりやすかったです
- ・統計の際は実際にパソコンを使用しての研修であったためよかったです
- ・講師の指導がわかりやすく、ポジティブにフィードバックしてくれるで継続してほしい
- ・ファーストレベルの受講前に論文・レポートのまとめ方の研修を受講する事で、以後のレポートをまとめる際に役立っている
- ・自分のペースに合わせた指導だったのでわかりやすかったです
- ・看護研究の基礎から学べ、講義もポイントを押さえた内容であったため分かりやすかったです。統計は難しかった

3) 平成31年度に希望する研修・講師（看護研究）

- ・谷本先生でシリーズで続けてほしい。
- ・症例研究の研修の継続とアンケート集計・統計処理についてより詳しくお願ひしたい
- ・継続して研修を希望する
- ・看護研究計画書の作成・構成方法
- ・アンケート調査の常識
- ・統計学
- ・締め切りが早いので申し込みにくい
- ・看護研究指導者対象研修
- ・統計分析について
- ・アンケート調査研究の企画から実践・データ集計・統計
- ・測定尺度について
- ・臨床現場に活かせる看護研究
- ・進行中の研究について相談できる研修は継続してほしい。
- ・経験年数別・職場別の問題点の抽出から小グループに分かれて研究に取り組む施設横断的研究ができると面白い？（環境のよく似た施設の共同研究など）
- ・平成30年度と同様の研修を希望
- ・臨床で行う看護研究

「がん看護」についての意見・感想等

1) 平成29年度研修についての感想（がん看護）

- ・乳がんのセルフチェック方法がとてもわかりやすかったです、乳がんの分類がわかりやすく、実践もよかったです
- ・治療の選択等を含む、一連の流れを学ぶことができた
- ・患者さまとのコミュニケーション方法を学ぶことができた
- ・がん看護専門看護師の講義の中で、がん看護の総論的な所から、がん拠点病院の紹介や役割、他の病院との連携の状況など、香川県の現状と今後の動向のことも知ることができたのでよかったです
- ・乳がん検診の必要性が今までよりももっと重要だと再認識した

2) 平成30年度研修についての感想（がん看護）

- ・コミュニケーションスキル：外来勤務であったため 病棟用で難しく感じた
- ・リンパマッサージ方法の実践が実際にできるのもで大変よかったです
- ・ターミナル期の関わりを振り返る良い機会を得た
- ・がん患者の感情表出を促すコミュニケーションスキルの講義は、がん患者はもちろんのこと、普段の接遇にも共通するような内容の講義であり、勉強になった。講義の内容もわかりやすく、看護師役、患者役、評価者に分かれて、ロールプレイをしながら、グループワークをすることにより、患者側の気持ちや対応の仕方を考える良い機会になった
- ・患者とその家族に対しての接したたの大切さの重要性を学んだ

3) 平成31年度に希望する研修・講師（がん看護）

- ・リンパ浮腫の研修：市川智里先生
- ・抗がん剤治療患者ケアについて
- ・がん患者の家族へのサポートについて
- ・アドバンスケアプランニングについて
- ・沼野先生
- ・最新治療について学びたい
- ・疼痛コントロールについて
- ・意思決定支援について
- ・がん化学療法質の高い看護実践について 菅野かおり
- ・がん治療と普段から取り組むACPについて
- ・治療も人生も「患者の意思決定」ですすめる看護専門職としての支援体制

「感染管理」についての意見・感想等

1) 平成29年度研修についての感想（感染管理）

- ・わかりやすい内容であった。マダニについての内容がよかったです
- ・認定看護師の実践的な研修でわかりやすかったです
- ・アウトブレイク時対応について施設に持ち帰り共有できた
- ・最新情報を学ぶことができた
- ・他県からの講師の講義は、新鮮で良かった

- ・毎年、感染管理の講義は3回に分けて動向から対策、現場の感染予防、サーベイランスの仕方などシリーズ化しているが、当院では、現場の感染予防の参加者が3名であった。最新の予防策が経路別に説明され、わかりやすく、自院の状況と比較し、出来ていない所は変更して行けるようにしていかなければならぬと感じた
- ・香川県の感染症の動向や対策等身近な話で興味が持てた
- ・継続して受けられて良かった
- ・感染対策に関する研修はよかったです今後も引き続き継続してもらいたい

2) 平成30年度研修についての感想（感染管理）

- ・なし

3) 平成31年度に希望する研修・講師（感染管理）

- ・麻疹について
- ・精神科病棟における感染管理についての研修
- ・渡航の感染症状況・対策
- ・ファシリティマネジメント
- ・スタンダードプロセッションの基本を
- ・標準予防対策について学びたい
- ・開催頻度を増やすしてほしい。インフルエンザ・ノロウィルス感染時の対応を精神科特有の視点から研修をしてほしい
- ・疫学・統計学
- ・抗菌薬、HIVなどの性感染症、結核についてなど。
- ・改善に結びつく取り組みや、効果的な職員研修、リンクナースの活用
- ・耐性菌とサベランスについて

「トピックス」についての意見・感想等

1) 平成29年度研修についての感想（トピックス）

- ・災害看護を継続して研修を受けることが必要と感じた
- ・ラダーの改定から、自部署の具体的な導入や変更について理解できた
- ・自院は一般病棟と介護療養型のケアミックス型病院であるため、クリニカルラダーの導入ができていない。今後、導入をめざし検討している状況にあった為、今回のJNAのラダー研修は、施設向け等の多様な看護師の就業現場に対応した内容となっていたため、参考になった。実際の自院と同じような病院のラダー導入事例があれば教えて頂きたいと思う

2) 平成30年度研修についての感想（トピックス）

- ・クリニカルラダー：実際に取り入れるまでの工夫、仕組がわかりよかったです
- ・地域包括ケアのこれからは、今後の厚生労働省の考え方などをわかりやすく講義していただきました
- ・看護補助者活用促進管理者研修 他施設の在り方など情報共有ができ良かった。フォローアップ等を追加してもいいかもしない
- ・看護補助者活用のための看護管理者研修はDVD研修であったが、加算に必要な規定や計画書作成の説明はわかりやすかった。また、研修の方法や業務分担の仕方を他施設の方とグループワークすることで、自施設でも導入して行きたいことや、計画書の作成の参考にすることが明確になった

3) 平成31年度に希望する研修・講師（トピックス）

- ・災害看護については、災害が多発している今継続してほしい
- ・災害時の看護（一般看護師対象の内容で）
- ・アロママッサージ
- ・エアロビなど体を動かす研修を希望します
- ・日常にできるストレス解消方法。
- ・人格者の話を聞く（対応力・人間性の形成）
- ・ビジネスマナー講義
- ・コーチング
- ・災害発生時に行うべきこと（医療施設・従事者を中心に）

「小児看護」についての意見・感想等

1) 平成29年度研修についての感想（小児看護）

- ・とても勉強になりました。
- ・虐待予防の行政と医療の連携が重要だと思った

2) 平成30年度研修についての感想（小児看護）

- ・小児のフィジカル研修は、施設でのOJTでは限界があり毎年気になる研修である
- ・講師は日総研研修で参加し受講しましたので、内容が充実して良かったと覚えている

3) 平成31年度に希望する研修・講師（小児看護）

- ・保護者が病気の時的小児への対応、声掛け等について
- ・病児や家族に向き合うポイント
- ・小児のフィジカルアセスメント(2)
- ・アレルギーについて
- ・新生児・NICU看護に関するもの

- ・新生児のフィジカルアセスメント(2)
- ・早産児の在宅支援
- ・FAST、虐待防止対策と小児看護 講師:四国こどもと大人の医療センター 木下あゆみ先生
- ・小児のフィジカルについては、他の研修会が少ないので希望します。「小児の家族看護」「食育」「食物アレルギー」

「母性看護」についての意見・感想等

- 1) 平成29年度研修についての感想（母性看護）
- ・オンデマンド研修がよかったです
- 2) 平成30年度研修についての感想（母性看護）

- 3) 平成31年度に希望する研修・講師（母性看護）

- ・ハイリスク妊婦の治療と看護
- ・新生児の救急処置
- ・『母子を災害から守る』新井隆成
- ・エジンバラスコアについて
- ・枠を増やしてほしい。現状の課題など
- ・アドバンス助産師のための産前産後うつ対応
- ・助産師ラダーⅢ認証のための研修は計画に入れてほしいです。骨盤ケア、母乳育児ケア、妊娠褥婦に使用する漢方薬、新生児ケア、特定妊婦・褥婦の継続支援、災害時の母子支援、母子の最近の動向と課題

「老年看護」についての意見・感想等

- 1) 平成29年度研修についての感想（老年看護）

- ・認知症ケア加算についての具体的な方法を聞きたかった
- ・認知症ケア加算研修は理解しやすくヒントがあった
- ・高齢者が多数を占めている自院では、アドヒアランスを高める服薬管理の講義は、老化とはどのような状態であり、服薬管理が困難な事例はなぜ起きているのかを理解することができた。サプリメントを薬と思わず服用し、処方薬との相互作用による副作用の発生が起きる事などに驚いた。効果的で、確実な服用を目指したアセスメントの方法等参考になった

- 2) 平成30年度研修についての感想（老年看護）

- ・誤嚥性肺炎について楽しみである
- ・オンドマンド講義+グループワークの構成が良かった
- ・ACP 相談支援方法について
- ・認知症研修は、基礎から学びができた

- 3) 平成31年度に希望する研修・講師（老年看護）

- ・認知症看護については継続して研修計画を立てて欲しい
- ・看取りのガイドラインにそって実践するなかで、注意すべき事項について学びたい
- ・誤嚥性肺炎口腔ケアは最近の老年の重要課題で毎年でもしてほしい
- ・看取りの看護
- ・ロコモティブケアについて
- ・認知症患者の看護について学びたい(3)
- ・終末期のケアについて、学びたい
- ・認知症薬理についてより詳しく学習したい
- ・退院支援カンファレンスの行い方を具体的に効果的に学びたい
- ・認知症・せん妄は継続してほしい
- ・エンド・オブ・ライフ・ケアの考え方、援助方法
- ・高齢者のフィジカルアセスメント
- ・高齢者のDVIに関して、観察や対応について
- ・認知症とともに生きる
- ・認知症のことは認知症の方に教えてもらおう
- ・香川県三豊市立西香川病院 大塚智文院長先生「オレンジカフェの活動」

「地域看護」についての意見・感想等

- 1) 平成29年度研修についての感想（地域看護）

- ・地域包括の基礎が理解できた、病院の方向性を見極めていかなければならないと感じた
- ・他職種・他施設と意見交換でき良いつながりであった
- ・病棟看護師が行える退院支援に参加して参考になった。今後、この分野は必要になってくるので、今後も具体的でわかりやすい研修をお願いします

- 2) 平成30年度研修についての感想（地域看護）

なし

- 3) 平成31年度に希望する研修・講師（地域看護）

- ・在宅に向けての支援、看護について、地域看護について
- ・地域と施設の連携をするためにどうしたらいいのか研修

- ・退院支援・社会資源の活用について学びたい(2)
- ・老年期特有の疾患・障害からの在宅移行についての事例検討をしてほしい
- ・多職種連携の取り組みの実際
- ・地域包括ケア病棟の運営の実際
- ・病院の看護師が知っておくべき、在宅医療看護、介護について、制度的なものも含めて。今年度の在宅での生活を見据えた入退院支援の内容と同じになるかもしれません、「病棟看護師が知っておくべき」というタイトルはどうかなと思った
- ・多死社会に求められる看取りの看護
- ・地域住民とともに考えるACP
- ・ふだんから話し合っておくことが重要。地域の多職種連携における看護師の役割
- ・制度の仕組みや入退院支援に使える権利

「精神看護」についての意見・感想等

1) 平成29年度研修についての感想（精神看護）

- ・精神症状についてわかりやすく理解できた
- ・一般病棟で気になる精神症状の対応は、疾患・対応など分かりやすく理解を深めることができた
- ・当院では認知症患者が多く、対応に苦慮していることも多い。精神科医からの講義であったため、薬についての内容が詳しく説明されたことにより、自院で使用している薬の作用、副作用について知識を深めることができた。普段使用している薬が多く出てきたこともあり、興味深く講義を聞く事が出来た。精神科医の講義を受ける機会は少ないため、勉強になった
- ・一般病棟で気になる精神症状への対応

2) 平成30年度研修についての感想（精神看護）

3) 平成31年度に希望する研修・講師（精神看護）

- ・認知症患者の看護について詳しく学びたい
- ・せん妄患者の看護 一般病棟での対応、看護について、症状の理解について
- ・SSTや精神科訪問看護
- ・一搬病床で気になる精神症状の対応について
- ・危険行動を伴う看護
- ・精神疾患の体系的アセスメントの研修・精神科ケア・ストレングスモデル研修
- ・産後うつ・精神疾患看護に関するもの
- ・睡眠と精神疾患
- ・がん患者の精神症状マネジメント、心理支援のポイント
- ・認知症患者を一般病棟で看護する注意点対処法など
- ・精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムについて。薬物やギャンブル、SNS等の依存症について
- ・認知行動療法

「成人看護」についての意見・感想等

1) 平成29年度研修についての感想（成人看護）

- ・心不全の看護の研修がよかったです
- ・基本的な糖尿病について学び疾病の型であったり小児の糖尿病患者の関わりの重要性を知り勉強になった
- ・糖尿病看護は、最新の情報を知ることができた
- ・自院では高齢者が多いため、心不全患者も多くみられる。認定看護師からの講義は、患者指導のポイントが具体的でわかりやすく、実践に結び付けやすい内容であった
- ・糖尿病・心不全の最新情報を勉強でき充実した研修会だった

2) 平成30年度研修についての感想（成人看護）

- ・倫理:グループワークで意見交換が多くよかったです
- ・とてもわかりやすかったが、資料の字が小さくて困った時があった
- ・糖尿・心不全など継続して研修が必要

3) 平成31年度に希望する研修・講師（成人看護）

- ・呼吸器疾患に関する看護、栄養・嚥下訓練について、褥瘡ケアについて、ポジショニングについて
- ・認定看護師に身近な看護を教えてほしい
- ・排泄ケアについて（施設内チームの関わりについて）
- ・もっといろいろな疾患や診療科の研修をしてほしい
- ・せん妄
- ・エンゼルケア
- ・看護倫理
- ・脳外疾患、心不全などの研修は興味深いので取り入れてほしい
- ・危険な心電図波形とその対策。上手な医師への報告の仕方

「看護管理」についての意見・感想等

1) 平成29年度研修についての感想（看護管理）

- ・労務管理は、本当に深くて広い
- ・日本看護協会の役員が講師として来県していただけすると、日本の看護の動向がよくわかつた

- ・職能 I 主催の師長の育成研修は意見交換出来て効果的であった
- ・管理者に必要なスキルとして、コンセプチュアルスキル、ヒューマンスキル、テクニカルスキルが必要であること、対応力、スタッフとの信頼関係を築くなどの人間性を活かすマネジメントが大切であると学んだ

2) 平成30年度研修についての感想（看護管理）

- ・看護実践と倫理：わかりやすく印象に残っている
- ・クリニカルラー：基礎から学べてよかった
- ・看護倫理が非常によかった
- ・看護補助加算は、他施設の現状を聞くことができ、参考になった
- ・看護師長研修や副師長育成などの研修があっても良い（ファーストやセカンドとは別に現場の情報共有や悩み解決など）
- ・看護倫理の研修は最近の情報も踏まえた研修で、事例のDVDも視聴でき大変学びになった。続けて手島先生の講義を希望する
- ・看護倫理研修が良かったので、来年も希望する。DVDの使用が分かりやすく、効果的であった

3) 平成31年度に希望する研修・講師（看護管理）

- ・看護から見る病院経営に関する事
- ・組織管理論
- ・ワークライフバランス
- ・看護倫理
- ・看護管理者としての倫理的対応
- ・働き方改革・より健康的で満足を高められる看護管理を学習したい
- ・介護福祉士の病院での業務と守るべき事など
- ・グループコミュニケーションの考え方
- ・リーダーシップ
- ・職場風土の変革・チームマネジメント（レベルⅢクラスの）・看護倫理
- ・看護に活かすドラッカーマネジメント（牛越 博文先生）
- ・社会人基礎力のJNAラダーへの活用
- ・ストレスマネジメント
- ・人材育成
- ・看護管理分析に必要な理論・データについて
- ・坂本すが先生
- ・大島敏子先生
- ・次世代を担う看護管理者育成・支援について。
 - ・看護課長（師長）のマネジメント実践における師長教育
 - ・元気に働く職場活性化やチームづくり：野中時代氏
 - ・大規模災害時における初期対応
 - ・看護管理者ネットワークを活用して
 - ・看護管理に活かすコンピテンシー、看護師のメンタルヘルスについて、看護倫理・臨床倫理、ポジティブマネジメント、PNSの組織変革への活用、アフォーダース実践法

「養成研修」についての意見・感想等

1) 平成29年度研修についての感想（養成研修）

【医療安全】

- ・ヒューマンエラーについて研修内容がとてもよかったです 院内研修に取り入れた
- ・グループワークも多く、他施設の方と意見交換もできてよかったです
- ・医療安全管理研修は他施設との情報交換の機会になった。RCA分析が勉強になった
- ・医療安全の事例検討の持ち方などもう少し時間が欲しい
- ・チームステップス・RCAの演習もあり非常にわかりやすかったです
- ・医療安全フォローアップ、具体的な対策があり理解できた

【フットケア】

- ・実技研修を受けることで看護実践にすぐつなげることができた
- ・県内で研修を受けられ良かった
- ・フットケア：下肢の洗浄、石鹼の泡の作り方などわかりやすかったです

【災害支援】

- ・具体的な活動について知ることができてよかったです
- ・災害があった年だけ、実務編が実施され災害支援ナースの資格取得できるが、毎年取得できるようにしてほしい
- ・災害支援について、全く無知の状態から研修を受講した。災害支援ナースとして、震災や豪雨などの支援活動から学んだ多職種との連携や役割の講義は、理解しやすかったです。実際に災害支援に行くためには、職場の協力体制が必要であることも今後の課題
- ・災害支援ナースの基礎編と実務編の期間が開くので、できればあけずに研修を開催してほしい

2) 平成30年度研修についての感想（養成研修）

【災害看護】

- ・災害支援ナースの実務編も毎年開催してほしい

【医療安全】

- ・医療安全 チームSTEPPS研修においてグループワークを取り入れてくれるとわかりやすかったです
- ・NO9:グループワーク・ディスカッションで他施設との意見交換ができ、参考になった

【フットケア】

- ・フットケア研修フォローアップでは、フットケア技術を深く学べた
- ・フットケア研修では、すぐに実践できる内容でありニッパーに使用方法などわかりやすかった
- ・重症化予防『フットケア』研修がなくて残念だった

3) 平成31年度に希望する研修・講師（養成研修）

【医療安全】

- ・ヒヤリハットの評価の仕方など
- ・個人情報管理について
- ・医療安全KYTの実際、医療安全RCA分析手法、Team STEPPSは基本的に大切な内容なので、継続してほしい
医療安全活動においての、効果的なコミュニケーション マネジメント

【災害看護】

- ・DHEAT/DPAT養成
- ・災害が起きた時の対応について
- ・災害時の感染防止対策
- ・アウトブレイク時の対策
- ・災害支援ナースを増やすため、毎年基礎と実務編を開催してほしい。
- ・災害支援ナースになりたい人がいるため、毎年基礎と実務編を開催してほしい
- ・香川県災害チームについて
- ・災害支援活動の実際(感染対策・医療安全)

【フットケア】

- ・診療報酬の施設基準の要件を満たす研修の『フットケア』を実施してほしい
- ・フットケアをDM加算施設でなくとも受講できるようにしてほしい。(高齢者・障がい者のセルフケア不足・転倒予防に大切と考える)
- ・フットケアは実践することで患者の指導方法がよりわかりやすく画面も大きくより理解できた。他のスタッフへの研修にも活かすことができた

「認定看護管理者教育」についての意見・感想等

1) 平成29年度研修についての感想（認定看護管理者教育）

- ・フォローアップ研修は、皆が頑張っている姿が見えモチベーションが上がった
- ・組織管理について学ぶことができた
- ・セカンドは、講師日程ともに不具合はなかった。成果発表準備、リハーサル希望の人は出来るようにできればと思う。PC確認操作なども。
- ・セカンドは、現場の課題を前向きにとらえることの重要性と解決に向けての手法を学べる研修でした。講師の先生方も魅力的でした
- ・ファースト・セカンドは、演習を通して他施設と意見交換ができた。日程もよかったです
- ・サードフォローアップ研修、管理の方々のSWOT分析など勉強になった

2) 平成30年度研修についての感想（認定看護管理者教育）

- ・コーチングの研修が参加型で他の施設の方ともコミュニケーションがとれて楽しかった
- ・16時ころ終了がよい。コーチングがよかったです。専門職論は学生の視点での講師だったので、違う講師がよい。土・日・祝日まで日程に入れてほしい
- ・ファーストレベルを受講して、今までの業務では、管理の目線で物事を考えていなかつたが、自部署の管理者が行っている業務などを、改めて知ることができた。自部署の分析や看護の質向上のための改善策を考える事で、自己のスキルアップだけでなく、自部署全体の事を考える機会となっている。講義の中では、平木先生の講義は、事例を多く話されていたため、理解しやすかった
- ・ファースト現在受講中ですが、管理者としての在り方について学び、今までと違った視点で考えられるようになった
- ・クレーム対応の研修があれば良いと思う

3) 平成31年度に希望する研修・講師（認定看護管理者教育）

- ・継続してほしい
- ・講義数が減少することモチベーションが心配
- ・皮膚・排泄ケア認定看護師教育課程できませんか？
- ・舞台に立って行う実践報告まではできませんが、看護管理者ファースト・セカンド・サードそれぞれ修了者の実践現場での活動報告・情報・意見交換ができるフォローアップがよいのではと思う
- ・次世代の管理者を育てる力

「インターネット研修」についての意見・感想等

1) 平成29年度研修についての感想（インターネット研修）

- ・診療報酬の改定について、もう少し早くしてほしかった。(4月は休めない)
- ・継続教育の基準について；研修の進め方を学ぶことができた
- ・直接講義を受けているようで非常によかった
- ・講師が実際にはいないため、講義の話し方に変化が少なく、眠気が起きやすかった。グラフなどは見にくいところがあった
- ・認知症における研修は、テーマに非常に興味があり参加したが、スライド資料のままの説明で、映像の魅力が伝わりにくかった。また、映像も現状にそぐわないものもあり、実際の現状に近いもので作成して頂けるとありがたい
- ・必要度の講義ですが、内容は国の動向やこれからの医療サービスについてわかりやすい内容でした。演習で映像が見にくかったので、工夫をして頂けるとありがたい

2) 平成30年度研修についての感想（インターネット研修）

- ・画面が見やすくなった。途中で映像が途切れることがあった。*看護必要度では？

- ・医療・看護重症度評価の研修では、テストの画像が2回流れたが、1回目は、メモも追いつかなかったため、2回でよかったです
- ・【認知症ケア】オンデマンド研修はやや興味が持ちにくく感じた
- ・平日2日間(認知症う、看取り)はなかなか受講が厳しい。自宅で自由に視聴できればありがたい

3) 平成31年度に希望する研修・講師（インターネット研修）

- ・診療報酬について
- ・災害看護支援ナース
- ・診療報酬と関連しているものは継続してほしい
- ・看護必要度に関する研修は継続してほしい
- ・クリニックラダーのレベル事の研修があればよい
- ・看護補助者業務・勤務体制、教育・支援について

「受託研修」についての意見・感想等

1) 平成29年度研修についての感想（受託研修等）

- ・実地指導者研修: 短い期間だが内容が充実していた
- ・新人研修は、とてもわかりやすかった
- ・新人研修は、他施設の方々と交流ができる、よかったです
- ・新人指導者教育担当者研修: 対象施設の新人指導の現状を知ることができ、自施設での研修プログラム策定に役立つことができた
- ・新人研修は他病院とのグループワークであったため他施設がどのように行っているかなど情報共有ができるよかったです
- ・VWLの研修では、時間管理の重要性を実感した
- ・実習指導者講習会の内容がよかったです（コーチング・カウンセリング）。他施設の看護職と情報交換でき勉強になった
- ・実習指導に参加して、実習生の見方が変わり等とてもよかったです
- ・再開発講座を受け入れたが、熱心に参加して頂き採用につながった
- ・新人看護職員研修に参加した。専門分野の講義は、認定看護師によるものがおおかったです、講義の中で、実際に聴診器などの器械の使用したアセスメントの方法などが理解しやすかったです。また、自院では同期がいないため、新人同士でのグループ討議は、同じ悩みや不安、情報交換等ができる気分転換にもなった
- ・認知症の病態等の理解が深められよかったです。
- ・実習指導者講習会に参加し、講義の中でどのように学生に伝えれば良いのかを事例やロールプレイで学ぶことができ、実践的な研修であった

2) 平成30年度研修についての感想（受託研修等）

- ・新人研修は継続してフィジカルをもう少し増やしてほしい
- ・今年度も再開発講座を受け入れた。療養型若しくはクリニックへの就職希望で在り、急性期での実習は本人の就職意向とは違うが、久しぶりに技術が出来、勉強になったと言って頂き、当院としても指導するという学びにつながった。
- ・実習指導者講習会に参加したが、グループワークがあり、他の施設の情報も交換でき良かった。また最近の実習生の気質を学べ、実習していく上で参考になった

3) 平成31年度に希望する研修・講師（受託研修等）

- ・新人研修後の2年目3年目の継続研修はどうか
- ・新人指導者研修フォローアップは続けてほしい
- ・教育担当者としてファシリテーション
- ・実習指導者講習会では、コーチングを学ぶが、さらに内容を深めた研修やロールプレイなどがあれば良いと思う

「その他」の意見・感想等

1) 平成29年度研修についての感想（その他）

- ・【新人】フィジカルアセスメント等の実技もあり、現場ですぐに使える内容で良かった
- ・【喘息と食物】実技（吸入・エピペン）…他できた事で実際に臨床に活かせることが良かった

2) 平成30年度研修についての感想（その他）

- ・クリニックラダーの研修では、今後の課題が明確になった
- ・クリニックラダーわかりやすかった
- ・【新人】グループワークで他施設との交流があり悩みなどの共有ができるよかったです
- ・【補助者加算】グループワークがあり他施設との意見交換は交流がもてよかったです
- ・急性期看護補助加算・看護補助加算のDVDを視聴したが、無駄のない内容でまとめられており分かりやすかったです。補助者の活用について実際に部署でも活かせる内容だった

3) 平成31年度に希望する研修・講師（その他）

- ・宇都宮宏子先生の在宅ケア移行支援についての講義を希望
- ・褥瘡や心電図の理解などの研修もお願いしたい
- ・PMFの導入について
- ・看護師のための接遇
- ・透析看護
- ・ストレッチ体操
- ・腰痛予防・対策など、職員の健康管理に関する学びたい
- ・各病院における看護方式をメリット・デメリットを含めて紹介してほしい

- ・認知症ケアについて
- ・チームSTEPPS
- ・コミュニケーション技術
- ・看護必要度研修。県内講師より中央の講師の研修がよい。前期の研修が多く、申し込みし辛い、また出席し辛い。半日研修が増えてもいい
- ・診療報酬加算に対応した研修を実施してほしい(認知症ケア、退院支援など)
- ・健診機関で働く保健師どうしの交流が持てるような研修を希望
- ・病院勤務の保健師向けの研修を希望
- ・訪問看護における災害時の支援について
- ・栄養管理について
- ・訪日外国人が安心して医療をうけられるための必要な知識
- ・看護補助者の研修方法 指導方法
- ・看取りの看護。アドバンスケアプランニング、次年度計画に希望
- ・今どきナースの困った時への対応